

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年3月7日（木）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアE1及びE2

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアE1及びE2の状況

4 確認結果の概要

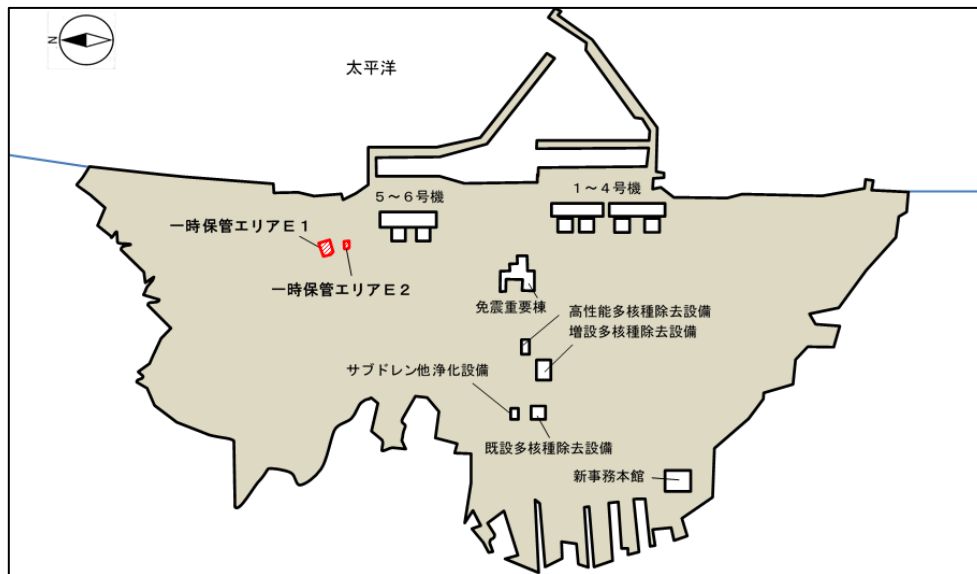
東京電力では、廃棄物管理の適正化の一環として、屋外で高線量の瓦礫類を一時保管している瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）の解消を進めていることから、一時保管エリアE1及びE2の状況を確認した。なお、E2エリアは過去に高線量の瓦礫類（受入目安表面線量率：10mSv/h）を保管していた。（図1）（前回確認：一時保管エリアE2→[令和4年11月7日](#)、一時保管エリアE1、E2→[令和4年4月5日](#)）

（1）一時保管エリアE1

- ・大部分の収納容器に本設シートによる養生が施されていた。なお、確認した範囲ではコンテナのずれや漏えい等は確認されなかった。（写真1）
- ・シート養生により一時保管していた汚染土壌を10フィートハーフハイトコンテナに詰め替えする作業を行っていた。（写真2）
- ・汚染土壌詰め替え作業に伴い、エリア西側においてダストモニタによる測定を行っていた。現地確認時において、測定値に異常は無かった。（写真3）
- ・一時保管エリアA2の仮設ハウスの解体に伴い当該エリアから移設したコンテナや重機が保管されていた。（写真4）
- ・当該エリアに目安線量1mSv/h以下の表示が掲示されていた。（写真5）

（2）一時保管エリアE2

- ・確認した範囲ではコンテナのずれや漏えい等は確認できなかった。なお、前回（令和4年11月7日）と比較して、保管されているコンテナの数が減少していた。（写真6）
- ・当該エリア内の側溝、コンテナ等を測定した結果、測定した箇所において、β汚染は確認されなかった。（写真7）
- ・目安線量2mSv/h以下の表示が掲示されていた。（写真8）



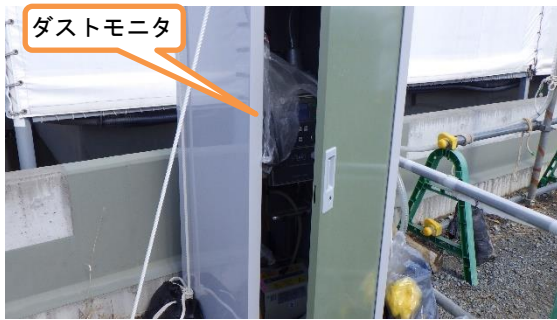
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリアE1の状況



(写真2)
汚染土壌の詰替の状況



(写真3)
ダストモニタの状況



(写真4-1)
エリアA2から移設されたコンテナの状況



(写真4-2)
エリアA2から移設された重機の状況



(写真5)
目安線量 1 mSv/h 以下の表示



(写真6-1)
一時保管エリアE2の状況①
(前回(令和4年11月7日)南側から撮影)



(写真6-2)
一時保管エリアE2の状況②
(今回(令和6年3月7日)南側から撮影)



(写真7)
側溝の線量測定を行っている状況



(写真8)
目安線量 2 mSv/h 以下の表示

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。